



# 2026年第1四半期 決算説明会

株式会社ブリヂストン

株式会社ブリヂストン

常務役員 CFO

**菱沼 直樹**

2026年5月14日

1. 2026年第1四半期・通期見通し 連結業績総括	...	3
2. 2026年第1四半期 連結業績	...	6

# 1. 2026年第1四半期・通期見通し 連結業績総括

# 2026年第1四半期・通期見通し 連結業績総括

## 第1四半期 連結業績（対前年）

- 為替円安の追い風もあり、第1四半期では過去最高の売上収益・調整後営業利益を達成。
- 北米では寒波影響もあり、需要が減速する中、市販用新商品やマルチブランド戦略が貢献し、PS/TB共に需要を上回る販売を達成、着実にシェアアップ。欧州は収益性改善が継続。
- PS/LTは高インチタイヤの拡販によるMIX改善を継続し、厳しい事業環境下でも対前年増益。
- 2月対外発表の資本政策（自己株式取得／資金調達）は着実に推進。

## 通期業績見通し：2月対外発表数値から変更なし

- 中東情勢は流動的であり、業績への影響については引き続き注視。
- 原油価格上昇による原材料コストアップ影響は第2四半期以降（主に下期）の発生を見込む。影響を最小化すべく様々な対策に取り組む。
- 米国関税影響：2月想定（グロス影響約550億円／年間）より大きな変更無し。

# 中東情勢影響

## 優先事項

- 安全はすべてに優先する — 中東地域で従事する従業員の安全確保
- 現地パートナーとの緊密な連携

## 直接影響

- 同地域の売上構成比は約1.5%と限定的

## 間接影響

- コストインフレ影響 .....
  - ・ 原油価格上昇等による原材料価格高騰
  - ・ エネルギー費上昇による加工費、物流費高騰
- サプライチェーン混乱による生産影響  
(当面は懸念無いものの、引き続き要注視)
- 経済悪化によるタイヤ需要の減少

## コストインフレ影響試算

- 26年通期コスト影響試算  
(2月対外発表の26年通期予想との比較)

**約700億円 (グロス影響)**

試算前提:

原油価格(WTI 90USD / bbl)が年内継続した場合の影響額試算  
含エネルギー費、物流費影響

状況を注視しながら、中東情勢影響を最小化すべく、  
ビジネスコストダウン、グローバルサプライチェーンを活かした  
コスト最適化、販売施策の強化等の様々な対策に取り組む

## 2. 2026年第1四半期 連結業績

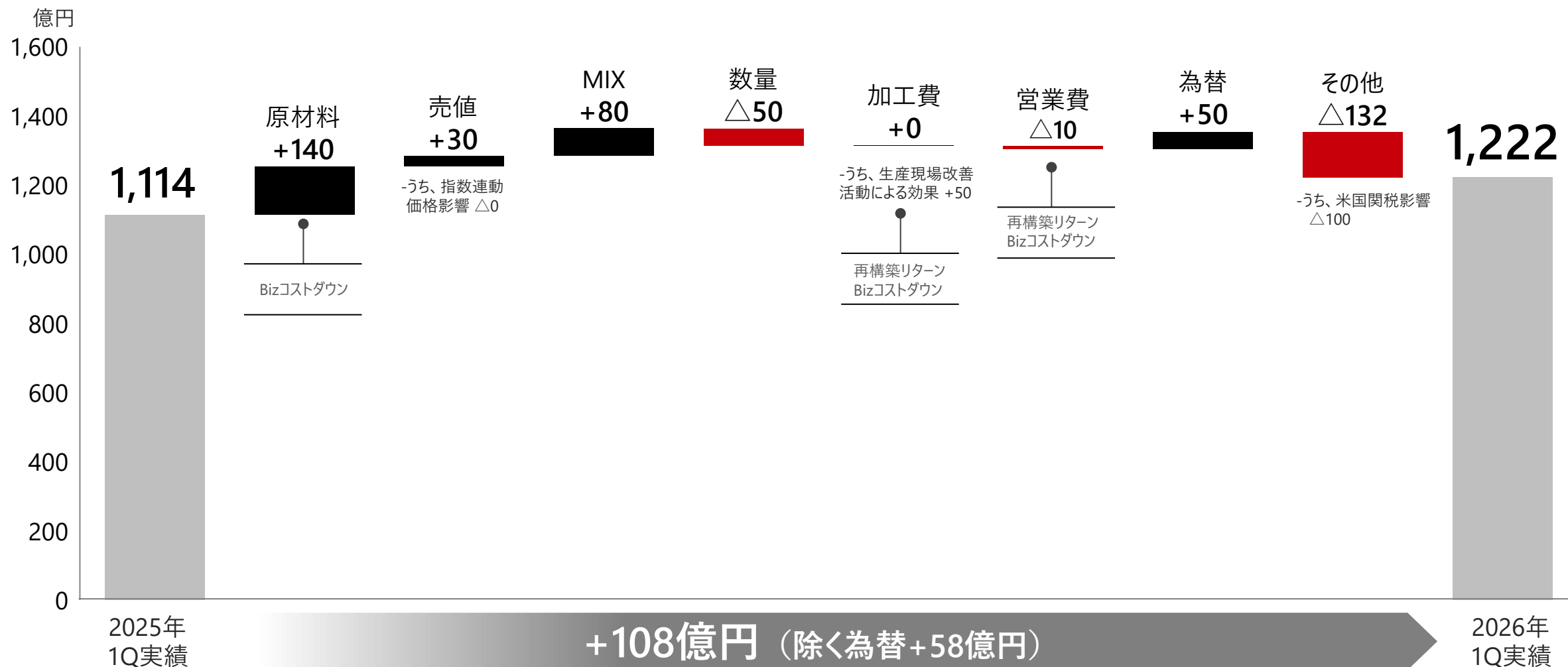
# 2026年第1四半期 連結業績

(単位：億円)

	2025年 第1四半期実績	2026年 第1四半期実績	前年比増減 (%)	
売上収益	10,581	11,134	+ 5	
調整後営業利益	1,114	1,222	+ 10	
利益率	10.5%	11.0%	+ 0.4pp	
親会社の所有者に帰属する 四半期利益	759	921	+ 21	
為替レート	USDドル	153円	157円	—
	ユーロ	160円	184円	—

※ 売上収益、調整後営業利益は、「継続事業」のみの金額・数値を表示しております。

## 2026年第1四半期 調整後営業利益増減要因：前年差







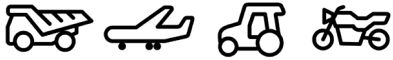

# 2026年第1四半期 セグメント別業績

(単位：億円)

		2025年 第1四半期実績	2026年 第1四半期実績	前年比増減 (%)	
日本	売上収益	2,999	3,038	+1	<ul style="list-style-type: none"> <li>為替円安に加え、日本における市販用タイヤの販売増、売値・MIX改善が増収、増益に貢献。</li> </ul>
	調整後営業利益	425	537	+26	
	利益率	14.2%	17.7%	+3.5pp	
アジア・大洋州・ インド・中国	売上収益	1,241	1,343	+8	<ul style="list-style-type: none"> <li>PS市販用タイヤの販売が堅調に推移し増収。</li> <li>リーンの経費マネジメント、再編再構築効果は継続。前年の一過性項目の影響を除けば対前年増益。</li> </ul>
	調整後営業利益	146	135	△8	
	利益率	11.8%	10.0%	△1.7pp	
米州	売上収益	5,107	5,321	+4	<ul style="list-style-type: none"> <li>北米：寒波影響もあり、需要が減速する中、市販用新商品やマルチブランド戦略が貢献し、PS/TB共に需要を上回る販売を達成、着実にシェアアップ。業績を下支え。 (対前年) PS 市販用需要91 販売95 TB 市販用需要89 販売97</li> <li>南米：黒字継続。厳しい事業環境下、体質改善や販売強化に取り組む。</li> </ul>
	調整後営業利益	398	379	△5	
	利益率	7.8%	7.1%	△0.7pp	
欧州・中近東・ アフリカ	売上収益	2,064	2,287	+11	<ul style="list-style-type: none"> <li>欧州での高インチタイヤを中心としたプレミアムタイヤの増販継続。再編・再構築効果も着実に発現し、増収増益、利益率向上。</li> <li>中東情勢の影響により中近東での売上・利益は対前年減少。 (連結業績への影響は軽微)</li> </ul>
	調整後営業利益	91	190	+109	
	利益率	4.4%	8.3%	+3.9pp	

# 2026年第1四半期 財別業績

(単位：億円)

		2025年 第1四半期実績	2026年 第1四半期実績	前年比増減 (%)	
 <b>PS/LT</b> (小売・クレジットカード事業を含む)	売上収益	5,961	6,368	+7	<ul style="list-style-type: none"> <li>高インチタイヤ等のプレミアムタイヤの拡販、MIX改善を継続。</li> <li>北米では市販用タイヤの需要が減少する中でもシェアアップを達成。小売事業の収益性も改善。</li> </ul>
	調整後営業利益	621	670	+8	
	利益率	10.4%	10.5%	+0.1pp	
 <b>TB</b> (リトレッド事業を含む)	売上収益	2,342	2,410	+3	<ul style="list-style-type: none"> <li>新車用・市販用共に販売は対前年で減少も、再編・再構築効果等による体質改善により前年比で増益、利益率も改善。</li> </ul>
	調整後営業利益	153	181	+18	
	利益率	6.5%	7.5%	+1.0pp	
 <b>Specialties</b> (OR/AC/AG/MC)	売上収益	1,562	1,621	+4	<ul style="list-style-type: none"> <li>ORはアジアでの石炭需要減少等により販売は対前年で減少も、原材料良化、為替による増益等もあり、高い収益性を継続。</li> </ul>
	調整後営業利益	341	356	+4	
	利益率	21.9%	21.9%	+0.1pp	
 <b>化工品・多角化事業</b>	売上収益	716	736	+3	<ul style="list-style-type: none"> <li>地道な改善を継続、事業体質改善を実現。</li> </ul>
	調整後営業利益	△ 1	15	-	
	利益率	△ 0.2%	2.1%	+2.2pp	

# 2026年第1四半期 事業ポートフォリオ別業績

## タイヤ事業

コア事業

前年比  
増減(%)

売上収益構成比

63%

売上収益	7,330億円	+4
調整後 営業利益	941億円	▲1
利益率	12.8%	▲0.6pp

## 化工品・多角化事業

前年比  
増減(%)

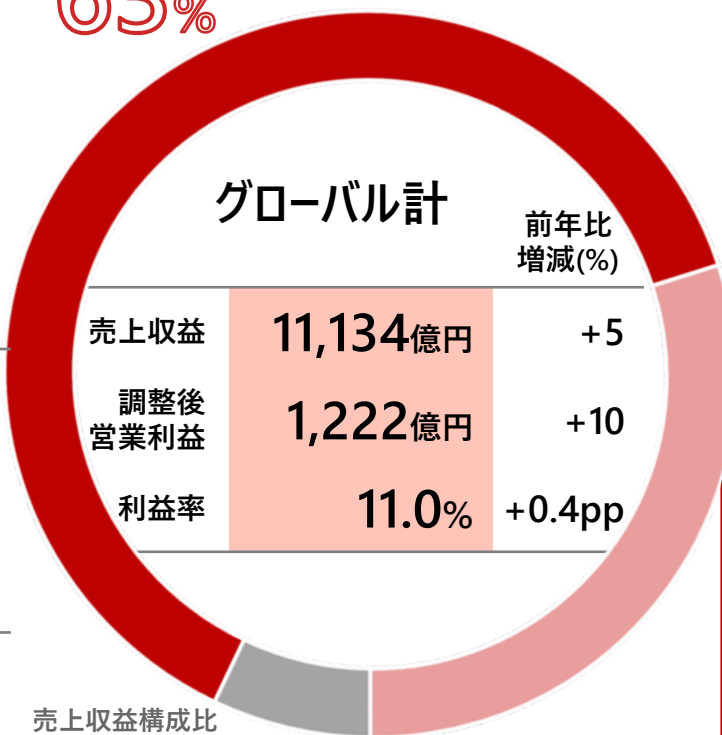
売上収益	736億円	+3
調整後 営業利益	15億円	-
利益率	2.1%	+2.2pp

売上収益構成比

6%

## グローバル計

前年比  
増減(%)



※連結消去等の関係で、事業別売上収益の単純合計が全社売上収益と一致しない  
※構成比は、事業別売上収益の単純合計より計算

■ コア事業—タイヤ事業：厳しい事業環境下においても、**利益率13%弱**を確保

■ 成長事業—生産財系BtoBソリューション：**増収増益**

**売上+11%成長、AOP額+61%成長、AOP率13%強**を達成

**小売：増収増益、収益性継続改善**

## ソリューション事業

※ソリューション事業に小売タイヤを含む

成長事業

前年比  
増減(%)

売上収益	3,556億円	+7
調整後 営業利益	271億円	+48
利益率	7.6%	+2.1pp

売上収益構成比

31%

## 小売サービス

※北米金融小売を含む

前年比  
増減(%)

売上収益	2,649億円	+6
調整後 営業利益	149億円	+38
利益率	5.6%	+1.3pp

## 生産財系 BtoBソリューション

前年比  
増減(%)

売上収益	907億円	+11
調整後 営業利益	122億円	+61
利益率	13.4%	+4.2pp

モビリティテック事業

戦略事業

# 2026年第1四半期 財政状態計算書及びキャッシュ・フローハイライト

(単位：億円)

	2025年期末実績	2026年第1四半期期末実績	対前年末
資産合計	57,477	56,458	△ 1,019
現金及び現金同等物	7,138	6,429	△ 709
(月商比)	(1.9カ月)	(1.7カ月)	(△ 0.2カ月)
棚卸資産	8,855	9,013	+ 159
商品及び製品	5,647	5,837	+ 190
負債合計	20,278	19,096	△ 1,182
有利子負債〈グロス〉	8,270	7,997	△ 273
資本合計	37,199	37,362	+ 163
親会社所有者帰属持分比率	63.7%	65.2%	+1.4pp
CCC (Cash Conversion Cycle)	171日	170日	△ 1日
期末為替レート	USD 157円	160円	+ 3円
	ユーロ 184円	183円	△ 1円
	2025年第1四半期実績	2026年第1四半期実績	対前年同期
営業CF	1,699	1,908	+209
投資CF	△ 786	△ 821	△ 35
フリーCF	913	1,087	+174
設備投資	562	551	△ 11
減価償却費及び償却費	862	920	+58

※1 対前年同期末、除く為替

## 資本政策（財務活動） 26年2月対外発表

- 企業価値向上に資する投資、最適資本構成（資本効率化）に向けた施策として、**1,500億円**を上限とする**自己株式の取得を実施予定**
- 業界トップ水準の格付けを維持しつつ、最適資本構成の構築とWACC低減による企業価値向上（ROIC-WACCスプレッド拡大）に資する施策の一環として、普通社債等にて**1,500億円の資金調達予定**

## 自己株式の取得、負債の活用を着実に推進

### 負債の活用（資金調達）

□ '26/4：1,200億円の調達を実施

### 自己株式取得

□ 4月末時点金額ベース進捗率：約51%



#### 免責条項

本資料に掲載されている業績予想、計画、戦略、目標などのうち歴史的事実でないものは、作成時点で入手可能な情報からの判断に基づき作成したものであり、リスクや不確実性を含んでいます。そのため、今後の当社を取り巻く経済環境・事業環境などの変化により、実際の業績が掲載されている業績予想、計画、戦略、目標などと大きく異なる可能性があります。従いまして、投資に関する決定はご自身のご判断においてなさるようお願いいたします。

# Appendix

---

相場動向（平均価格）推移

	2025年				2026年
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q
天然ゴム 〈TSR20〉※1（＄/kg）	197	168	170	173	191
天然ゴム 〈RSS#3〉※1（＄/kg）	240	221	219	206	229
原油 〈WTI〉（\$/bbl）	71	64	65	59	73



※1 Source: Singapore Commodity Exchange Limited 期近市況価格




2026年第1四半期 タイヤ需要（本数 対前年）

当社推定値	PSR/LTR（乗用車/ライトトラック用）		TBR（トラック・バス用）	
	OE（新車用）	REP（市販用）	OE（新車用）	REP（市販用）
日本	104%	99%	115%	91%
北米	98%	91% <sup>※2</sup>	79%	89% <sup>※2</sup>
欧州	99%	98%	108%	97%

※2 メンバー需要：米国・カナダのタイヤ製造者協会※3に参加するタイヤブランド（除く輸入品）  
全体需要（Non Memberの需要を含む）は次の通り。PSR/LTR REP：92% TBR REP：85%  
※3 USTMA (U.S. Tire Manufacturers Association) + TRAC (Tire Rubber Association of Canada)

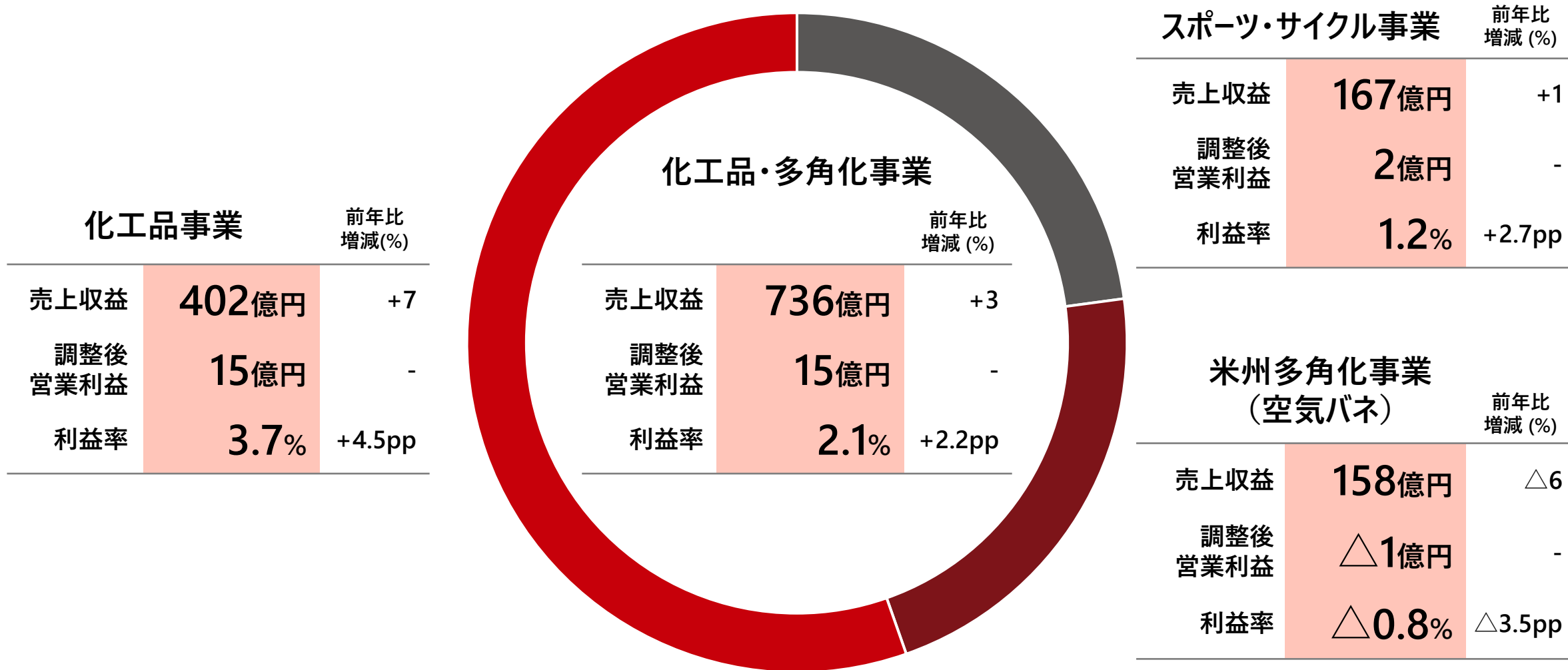
2026年第1四半期 タイヤ販売（本数 対前年）

 PSR/LTR	対前年		 TBR	対前年	
	OE（新車用）	REP（市販用）		OE（新車用）	REP（市販用）
グローバル（OE+REP）	101%		95%		
グローバル	100%	101%	95%	95%	
日本	95%	103%	109%	97%	
アジア・大洋州・インド・中国	106%	102%	122%	99%	
北米	105%	95%	87%	97%	
欧州	105%	109%	80%	89%	

  PSR/LTR 18インチ以上	対前年		 ORR	対前年	
	OE（新車用）	REP（市販用）		OE（新車用）	REP（市販用）
グローバル（OE+REP）	104%	103%	超大型（REP）	96%	
			大型	86%	
			OE	110%	
			REP	76%	
			中小型	103%	
			OE	111%	
			REP	96%	

※TBRについては、中国を除外した数値を記載しております。

## 2026年第1四半期 化工品・多角化事業 事業別業績





# 乗用車用プレミアムタイヤ—断トツ商品なしに、質を伴った成長なし



## 北米

## マルチブランド戦略

**TURANZA™**  
PRESTIGE™

ENLITEN™  
TECHNOLOGY



ツーリング領域オールシーズンタイヤの旗艦商品  
(2025年3月発売)



**TURANZA™**  
EVERDRIVE™

ENLITEN™  
TECHNOLOGY



ツーリング領域ベーシックタイヤ (2025年6月発売)

**ALENZA™**  
PRESTIGE™

ENLITEN™  
TECHNOLOGY



プレミアムCUV/SUV/ピックアップ向け  
オールシーズンタイヤ (2025年9月発売)



**FIREHAWK™**  
INDY 500 V2™

ENLITEN™  
TECHNOLOGY



ウルトラハイパフォーマンスサマータイヤ  
(2026年1月発売)

## インド

**TURANZA 6i**  
ENLITEN



インド市場向けにカスタマイズした  
ツーリング領域プレミアムタイヤ  
(2024年4月発売)

## 日本

**BLIZZAK**  
WZ-1  
ENLITEN



乗用車用プレミアムスタッドレスタイヤ  
(2025年9月発売)

**POTENZA**  
**RE-71RZ**  
ENLITEN.



ストリートラジアル史上最速を追求した  
スポーツタイヤ (2026年2月発売)

# トラック・バス用プレミアムタイヤ—断トツ商品なしに、質を伴った成長なし



北米

**R273** **ECOPIA**  
ENLITEN  
TECHNOLOGY



地場・中距離走行向けの旗艦商品  
耐摩耗性と燃費性能に加えて、  
リトレッド対応力を高いレベルで向上  
(2025年11月発売)

日本

**M899**  
ENLITEN  
TECHNOLOGY



舗装路・高速走行向けのオールシーズンタイヤ  
リトレッドを含めたトータルでのライフを向上  
経済性/安全性と環境性能を高次元で両立  
(2025年3月発売)

欧州

**ECOPIA** **TRAILER**  
ENLITEN  
TECHNOLOGY

ECOPIA  
SteerECOPIA  
DriveECOPIA  
Trailer

長距離走行向けの旗艦商品ECOPIAシリーズ  
既存のSteer / Drive用商品と合わせて  
フリート向けENLITEN搭載低燃費商品拡充  
(2025年2月発売)



#### 免責条項

本資料に掲載されている業績予想、計画、戦略、目標などのうち歴史的事実でないものは、作成時点で入手可能な情報からの判断に基づき作成したものであり、リスクや不確実性を含んでいます。そのため、今後の当社を取り巻く経済環境・事業環境などの変化により、実際の業績が掲載されている業績予想、計画、戦略、目標などと大きく異なる可能性があります。従いまして、投資に関する決定はご自身のご判断においてなさるようお願いいたします。